

公益社団法人北海道倶楽部
理　事　長
有末　真哉

略歴

１９５８年生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、１９８０年三井生命（現大樹生命）に入社。保険数理を専門に扱うアクチュアリーとして事業統計・生命表・収益管理・商品設計などの業務に携わる。会社生活後半は経営の領域に身を置き、主計部長・企画部長・常務・専務を経て２０１３年に社長就任。在任中は生保協会副会長、経団連常任幹事などを歴任。取締役会長・顧問を経て２０２２年に退任。２０２６年より三機工業社外取締役。

曾祖父有末孫太郎は元屯田兵、大伯父有末精三陸軍中将は元倶楽部会員、自身も中学高校５年間を札幌で過ごすなど北海道に深い縁を持つ。東京都出身。

ご挨拶

本年３月、大久保尚武氏の後任として理事長に就任いたしました有末真哉です。就任にあたりご挨拶を申し上げます。

北海道倶楽部は来年創設１００周年を迎えます。１９２７年に新渡戸稲造博士らが集まりこの会を発足させて以来、戦争による活動中断期などを乗り越え、１００年という歴史を刻み、発展を遂げながら今日に至っています。

１００周年という大きな節目に、北海道発展を願う企業や個人の方々よりいただく寄附金を財源とした公益事業を複数年にわたり行ってまいります。創設１００ 周年記念事業の内容としては、記念式典・記念誌発行、歴史展示・記録アーカイブ化、記念講演・シンポジウムの開催や、北海道に縁のある若手人材育成プログラムへの資金援助、道内教育機関と連携した研究支援人材支援といった新たな公益事業などを候補として検討を進めています。趣旨にご賛同いただきご寄附いただいた皆さまの思いをしっかりと受け止めて、北海道発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

また、１００周年記念事業への取り組みは当倶楽部の認知度を高める絶好の機会であるという点も重要です。新たな事業への取り組みにより活動に共感する層が増えれば入会希望も増加します。会員増による組織拡充は事業領域・規模拡大のチャンスとなり、それが新たな入会や支援者を呼び込むという好循環を生みます。１００周年を好機と捉えて、北海道倶楽部の持続可能性を確かなものにする基盤づくりにも力を注いでまいります。

皆さまのご支援を力に、北海道倶楽部の発展に尽力し、北海道振興に寄与してまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

100 周年を機に
倶楽部の持続可能性を強固に